

いると安心! かかりつけ医

大学病院と密接な
関係で医療連携を推進する

かかりつけ医と 獨協医科大学 越谷病院との 連携

獨協医科大学越谷病院

平成29年 新棟竣工の ご案内



特集 知らないと怖い脳の病気
前兆と予防法

獨協医科大学越谷病院 地域連携広報誌

まもるがかり

まもるがかり

知らないと怖い 脳の病気 前兆と予防法



病院長 兵頭 明夫
昭和52年 千葉大学卒
医学博士(筑波大学)
専門分野
脳卒中、脳神経血管内治療、脳腫瘍
日本脳神経外科学会専門医
日本脳神経血管内治療学会指導医
日本脳卒中学会専門医

日本人の死因の上位、「脳卒中」。
近年、高齢者だけでなく、
働き盛りの世代にも発症傾向があります。
もし自分の身に起こってしまったとき、
あなたはどうしますか？

脳卒中ってどんな病気？ 脳梗塞の症状は？

日本人の主な死因のひとつである脳卒中は、脳血管の異常が元で起こる病気です。そのうち、血管が破れて出血するのが脳内出血で、血管が詰まってしまうのが脳梗塞。実に脳卒中の3分の2ほどを脳梗塞が占めています。脳の血管が狭くなったり詰まったりして血中の酸素や栄養が十分に行き渡らなくなると、脳細胞に障害が起こり、何らかの症状が表れます。ダメージを受けた脳の部位によって異なりますが、たとえば手足を動かしたり、言葉を話したりすることが困難な状態に。アメリカでは、フェイス（顔）、アーム（手足）、スピーチ（言葉）などに症状が出たら、タイム（できるだけ早く）病院に行きなさいということで、それぞれの頭文字からFASTIIファースト（早く）という標語を作って注意を呼びかけています。



症状がすぐに治まっても 専門医療機関の受診を急いで

脳梗塞の症状は突然表れるため、いつ起きるのかということには誰にもわかりません。ただ、「前兆」として、数十秒から数分ほどの一時的な症状が表れる場合も、前兆の後には大発作が起きる可能性がありますので、症状が消えたからといって放置せず、ただちに救急車を呼んでください。脳内に血液が流れなくなると神経細胞はわずか3分で死んでしまい、決して生き返ることはありません。先ほどファーストとお伝えした通り、脳梗塞への対応は時間との勝負なのです。発作が起きて4時間30分以内なら、薬を使って血管に詰まった血の塊（血栓）を溶かすことができます。または血管の中に道具を入れて血栓を取り除く手術もあり、こちらは8時間以内に行うことが必要です。いずれにせよ、脳の神経症状をしっかりと診られる脳神経外科、脳卒中内科、神経内科の医師がいる病院へ行くことが重要です。特に、ステント手術については高度な技術が必要であり、この手術ができるのは埼玉県東部地区では当院だけ。担当できる医師が7、8人もいます。脳卒中を専門に診る脳卒中ケアユニット（SCU）も6床あり、現在建設中の新棟が完成後、18床に増床予定です。

脳梗塞が原因の認知症も。 定期的な検診を欠かさずに

脳梗塞リスクの高い人は、動脈硬化になりやすい高血圧や糖尿病、血管に病気がある人など。血栓ができてやすい心臓病の方も注意が必要です。しかし、特に持病がなくても高齢によって徐々に血管が古い、脳梗塞になるリスクは高まっています。日々、正しい食生活や適度な運動など健康的な生活を送り、血管を若々しく保つ努力をすることが大切でしょう。さらに、定期検診や脳ドックで健康状態をチェックすることも忘れずに。脳ドックで使用するMRIやMRA、超音波検査では動脈硬化で狭くなっている血管の様子がよくわかりますよ。高齢者の場合、言葉がうまく出なくなったりときにアルツハイマーを疑うかもしれませんが、実は動脈硬化などによる脳血管性認知症の可能性もあります。その特徴は、あるとき突然に起こった異変だということ。少しずつの進行ではなく、突発的に起こった場合は、脳梗塞をはじめとする脳血管疾患による障害も疑ってみてください。脳梗塞は言語障害や半身不随を引き起こし、寝たきり状態になったり、命を失うこともある怖い病気です。気になることがあったら、できるだけ早く専門病院を受診しましょう。



人間ドックや健康診断、生活習慣病に関する情報を発信しています

**獨協医科大学越谷病院附属
腎・予防医学センター**

<http://www.dokkyomed.ac.jp/dep-k/jyc/>

かかりつけ医と 獨協医科大学越谷病院 との連携

日頃の診療や健康管理をしてくれる

身近なお医者さん“かかりつけ医”。

体のちょっとした症状が気になるときや、

健康診断で異常な数値が出たときなどに

大変頼りになる存在です。

イザというときのかかりつけ医、あなたはいますか？



脳の病気、あなたは大丈夫？

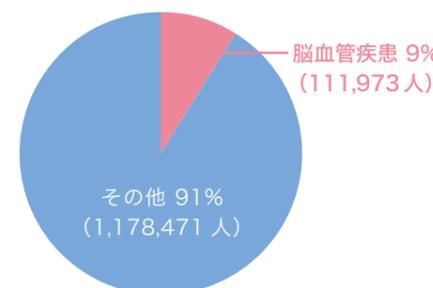


脳卒中は、大きくは脳の血管が詰まる「脳梗塞」と、血管が破れる「脳内出血」や「くも膜下出血」に分けられます。

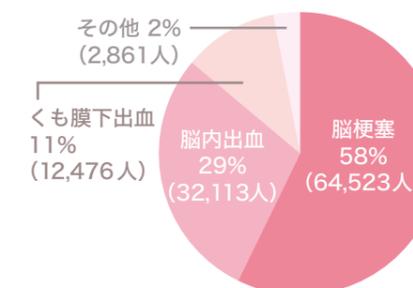
平成 27 年の死亡者総数 約 130 万人のうち、脳血管疾患（脳卒中など）による死亡者数は約 11 万人で、全体の 9% でした。

この脳血管疾患のうち、割合としては「脳梗塞」が 58%、「脳内出血」が 29%、「くも膜下出血」が 11%、「その他」が 2% という結果でした。

全死因における脳血管疾患の割合



脳血管疾患の死因内訳



※参考：厚生労働省 平成 27 年 (2015) 人口動態統計 (確定数) の概況

こんな症状は危険信号！セルフチェック

- 今までに感じたことのない激しい頭痛がする
- 意識が朦朧とする、意識がなくなる
- 視野が狭くなる
- 手足がしびれる、麻痺する
- 片方の手足がしびれる、麻痺する
- ろれつが回らなくなる
- 物が二重、三重に見える
- 片方の目が真っ暗になる
- 文字が上手に書けなくなる
- 言葉がとっさに出なくなる

「脳卒中の症状かも…」と思ったら、
すぐに救急車を呼びましょう。
速やかに専門家の処置を受けることが大切です！



地域医療の 3つの安心

かかりつけ医と獨協医科大学越谷病院が連携して、地域医療に貢献します。

中核病院

治療が難しい病気でも、高い技術を持った専門医に診てもらえるのが中核病院です。しかし、いきなり中核病院を訪れると、診察まで長時間待ったり、選定療養費がかかったりします。

だから、かかりつけ医の紹介が必要なんだ

いると安心!
かかりつけ医

知ってて 安心!
かかりつけ医と
中核病院の特長

かかって安心!
かかりつけ医と
中核病院との連携

かかりつけ医 (クリニックや医院など)

あなたのことを良く知っていて、いざという時に中核病院の専門医を紹介してくれます。日ごろから気軽に相談できる“かかりつけ医”を持つことが安心につながります。

それぞれの特長 を理解しよう

患者



あなたの街の
クリニックへ
受診

日常診療

特長

じっくり診察してくれる。
日常の健康管理についてアドバイスをくれる。
検査・手術などが必要なとき、適切な病院を紹介してくれる。

獨協医科大学越谷病院での 専門的な検査、手術、治療

特長

重篤な患者に対して検査、手術を提供してくれる。
かかりつけ医と連携して、より良い治療方針を提案してくれる。



分かりました!

大学 病院へ
ご 紹介

Aさんをご
紹介しますので
お願いします

紹介元 の医院へ
ご 報告

Aさんの
治療は...

なるほど、
では...

ちょっと
お腹が痛くて...



獨協医科大学 越谷病院

新棟竣工のご案内

平成29年11月 新棟完成予定



◆新棟は病院東側の旧郵政宿舍跡地に建設中です。外観は既存の建物同様、白を基調とした清潔感のあるデザインとし、高度医療を提供するにふさわしい信頼感と安心感をデザインで表現。機能的でコンパクトにし、動線を短くすることで、使いやすい設計しております。外壁の素材を使い分け、変化のある形状とすることで、周辺環境への調和を図っております。高度機能の手術室は22室備え、外科系の入院病棟を構成。また、当直室やシャワールームを備えた臨床研修センター、教育・研修にも活用する大会議室も配置しております。

◆既存棟 723 床に加え、新たに 200 床が出来上がれば、合計 923 床となります。



新棟は地上8階、地下2階で耐震構造を採用

更なる地域医療の拠点へ

獨協医科大学越谷病院は、「常に研鑽し患者さまの信頼にこたえる」を理念とし、昭和59年の開院から埼玉県はもとより、東京都や千葉県など隣接する地域から多くの患者さまにお越しいただいております。また、越谷病院の役割機能である災害拠点病院として、DMAT活動にも力を入れております。今後も東部地域の基幹病院として、皆さまに安心かつ安全な医療を提供するため、次世代に向けた施設整備を行っております。

第6次埼玉県保健医療計画において、当院は総合周産期母子医療センターの新設、2次救急輪番制への参加や搬送困難事案の受け入れなど、救急医療を充実する計画を申請し、200床増床の承認を受けました。新たな病床や高度な医療機能を整備するため、隣接地を取得し、新棟建設に着手しております。

オープンには平成29年を予定。24時間診療の子ども医療センターを新設するほか、脳卒中やガンなどに対応する高度専門医療体制も強化し、より一層充実した地域医療の実現を図ってまいります。

Access



駐車スペース（有料）に限りがありますので、ご来院の際は公共交通機関をご利用ください。

東武スカイツリーライン 新越谷駅下車 徒歩3分
JR武蔵野線 南越谷駅下車 徒歩3分

患者さまの利益となる 急性期病院と地域病院の連携

高度医療を必要とする患者さまのため
地域の病院や診療所との連携を強固かつ広範囲に

当院は高度医療に特化した大学病院として、埼玉県はもとより東京都や千葉県など隣接する地域の患者さまを多く受け入れています。今秋の新棟完成により923床の超大規模病院となり、ますますの患者数増加が見込まれるため、24時間365日いつでも患者さまを受け入れられる態勢を整えることが急務となっております。そのためにかかせないのが地域の病院やクリニックとの連携だと言えるでしょう。

かねてから地域連携の重要性が指摘されてきましたが、何が重要なのか明らかでない場合も多々ありました。それは、同じ役割を担った病院が連携していたから。本来の地域連携とは、当院のような超急性期病院は高度最先端医療を提供する場として、地域の病院やクリニックは地元のかかりつけ医として、お互いの得意分野や病院特性に合った役割を担っていくということ。適切な病院で適切な治療を受けられることこそ、地域連携の最大のメリット

なのです。たとえば、手術は当院で受け、急性期を過ぎたら速やかに地域の病院や施設、ご自宅へ戻っていただく。患者さまは高度医療と地域密着の医療・福祉という2つのメリットを得られ、当院は急性期の患者さまのためにベッドを空け、高度医療を必要としている方々に力を注ぐことができるというわけです。

こうした医療連携の中心となるのが総合医療相談部です。地域の連携医療機関で受診された後に当院で治療を受けられる場合、総合医療相談部を通じて紹介初診の日時予約が可能となっております。「適切な病院で適切な治療」を受けられるため、ぜひこの制度をご利用ください。受診、入院後は専門のソーシャルワーカーや看護師が地域の保健・福祉・介護機関などと連携を取り、退院後の患者さまやご家族がより良い療養生活を営めるよう援助を行っています。来年度にはソーシャルワーカーを



総合医療相談部 部長 岡田 弘

10名に増員し、その機能をますます強化。毎日、全病棟の患者さまに対して、急性期の状態にあるかどうかモニタリングすることで、最適なタイミングで地域連携病院との話し合いを開始することができそうです。これにより、現在でも13日弱と短い入院日数がより短くなり、100%の稼働率も95%程度に下がることが期待されています。実現すれば、さらに多くの患者さまを受け入れることができるようになるでしょう。

地域ならではの特性を發揮し、近隣住民の方々の拠り所となっている地域病院や診療所と当院は、深い信頼関係で結ばれています。今後もより強固な関係を結び、より広い範囲で病連携、病診連携をしていきたいと考えています。

脳トレ! 間違い探し

2枚のイラストには、右と左で異なる箇所が5箇所あります。見つけて丸をつけてみてね!



答えはウラ面をチェックしてね!

テーマ「花粉症」
花粉症の患者さんにとってまだまだ不快な時期。対策はバッチリですか?
関東は花粉の種類と量が多く、飛散期間も長いので、症状が辛い方は、お近くのクリニックに相談してみてくださいね。

獨協医科大学越谷病院 地域連携広報誌

まもるがかり

発行 獨協医科大学越谷病院

〒343-8555
埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

TEL: 048-965-1111 (代)
048-965-1147 (総合医療相談部)

<http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-k/>

制作 株式会社メディア・プラン
<http://www.media-plan-tokyo.co.jp/>

次号予告

第2号 2018年4月発行予定

不妊症と治療

不妊症に悩むカップルは年々増加しています。しかし日本において、不妊症や治療に関する認知度はまだまだ低いのが現実。そこで次号では、不妊症の原因や検査・治療方法について専門医にお話を伺います。

総合医療相談部医療連携部門のご案内

業務時間 (病院休診日を除く)	平日	午前8時30分～午後4時30分
	土曜日(第3週を除く)	午前8時30分～午後1時30分
連絡先	電話	048-965-1147(直通)

※ご紹介状をお手元にご準備の上、ご連絡をお願いします。

ご案内

ご紹介状をお持ちの患者さまは、
初診の予約ができます。

獨協医科大学越谷病院では、初診時の外来待ち時間を短縮するために、ご紹介状をお持ちの患者さまより、お電話にて予約受付を行っております。



“笑顔”がつなぐ患者さまとの
ふれあいの時間を
大切にしています

理念

常に研鑽し患者さまの信頼にこたえる

病院概要

- 開設年月 昭和59年6月
- 許可病床数 723床
- 診療科名 糖尿病内分泌・血液内科、呼吸器・アレルギー内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、小児科、放射線科、総合診療科、外科、整形外科、心臓血管外科・呼吸器外科、小児外科、産科婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科、救急医療科、麻酔科、こころの診療科、皮膚科
- 診療受付時間 午前8:30～午前10:30
- 休診日 日曜、祝日、第3土曜日、開学記念日(4月23日)、年末年始(12月29日～1月3日)
- 面会時間 全日(12:00～20:30)

アクセス

東武スカイツリーライン 新越谷駅下車徒歩3分
JR武蔵野線 南越谷駅下車徒歩3分



獨協医科大学越谷病院

〒343-8555 埼玉県越谷市南越谷2-1-50 TEL:048-965-1111(代)



11ページの「**脳トレ!**間違え探し」の答え



みなさんは、いくつ分かりましたか?
舞っている花粉は、
ちょっと難易度高かったかな。
次回もお楽しみに!

